

TOYAMA Education Valley (仮称) 【革新的教育コンテンツ集積地域創造】

とやま未来創造県民会議
青年プロジェクトチーム
第2グループ

政策提言

富山県内各地域に、
「学び直し」「おとなの学び」「ひとづくり」の
LABOを創り、**将来的に一般社団法人化**を念頭に、
各地域LABOを統括する委員会・協議会の発足
-TOYAMA Education Labo（仮称）-

VISION

日本一の「**教育県**」富山県から
「**世界一クリエイティブな学び県**」へ。
尖って尖って尖りまくる。

SLOGAN

「学びの**新機軸**樹立」

-**義務教育**→**大手企業勤務**からの**解脱**-

K G I

「20年後にこうなりたい」と思える、
「世界水準のかっこいい人間」がゴロゴロ居る県。

世界で活躍する（できる）
起業家・経営者・クリエイター・技術者
アーティスト・料理人・学者・社会活動家
が次々と湧いてくる県

そんな人間を求めて
世界中から旅行者や多拠点生活者や移住者が集う県。

BACK-GROUND

- ① 2014年～2018年の間、
毎年連続で15歳～34歳の女性の転出超過。
- ② 住みやすさ（可処分所得の高さ、持ち家率の高さ、災害の少な
さ、待機児童の少なさ）の指標が日本トップクラスにも関わら
ず女
性の転出超過。
→これだけでは転出抑制や転入促進の武器にならない。

課題・論点

■短期滞在（旅行・出張等）

- ・ 100万人が素通りする県。
- ・ どこで特別な人・景色・食事・建築に出逢え、特別な体験ができ、特別な話が聞けるかという視点。
- ・ ひとりでも楽しく豊かに快適に過ごせるか？という視点。

■中期滞在（大学生、単身赴任、中期的多拠点）

- ・ 中期滞在や多拠点生活のしやすいコンテンツの少なさや情報発信の脆弱さ。
- ・ 受け入れ側の地域の人やコミュニティの脆弱さや理解や共感の少なさ。

■長期滞在（定住・移住・長期的多拠点）

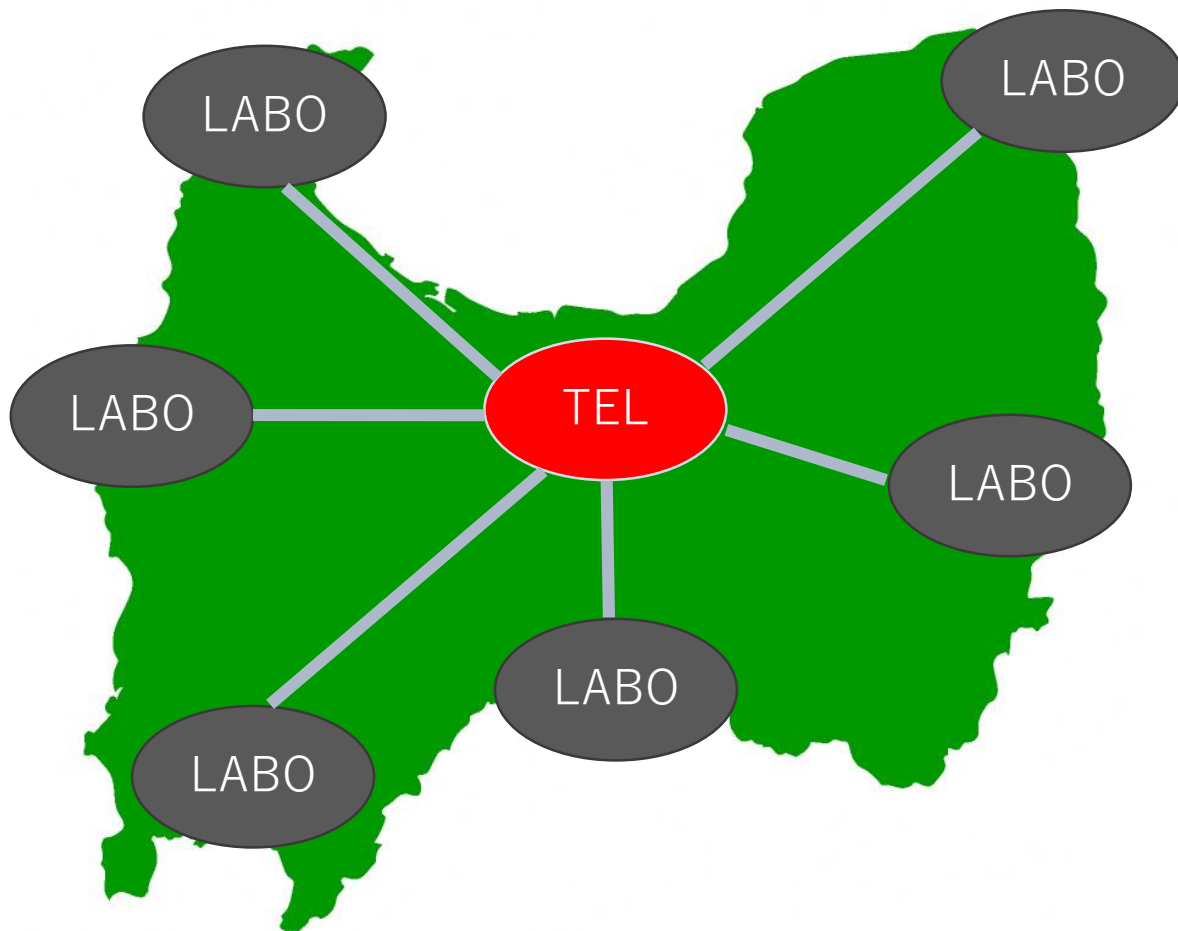
- ・ 女性の長期滞在（定住・移住（Uターン等含む））の強烈な決め手の少なさや情報発信の脆弱さ。
- ・ 受け入れ側の地域の人やコミュニティの脆弱さや理解や共感の少なさ。

各地域LABO及びLABO統括組織の概要

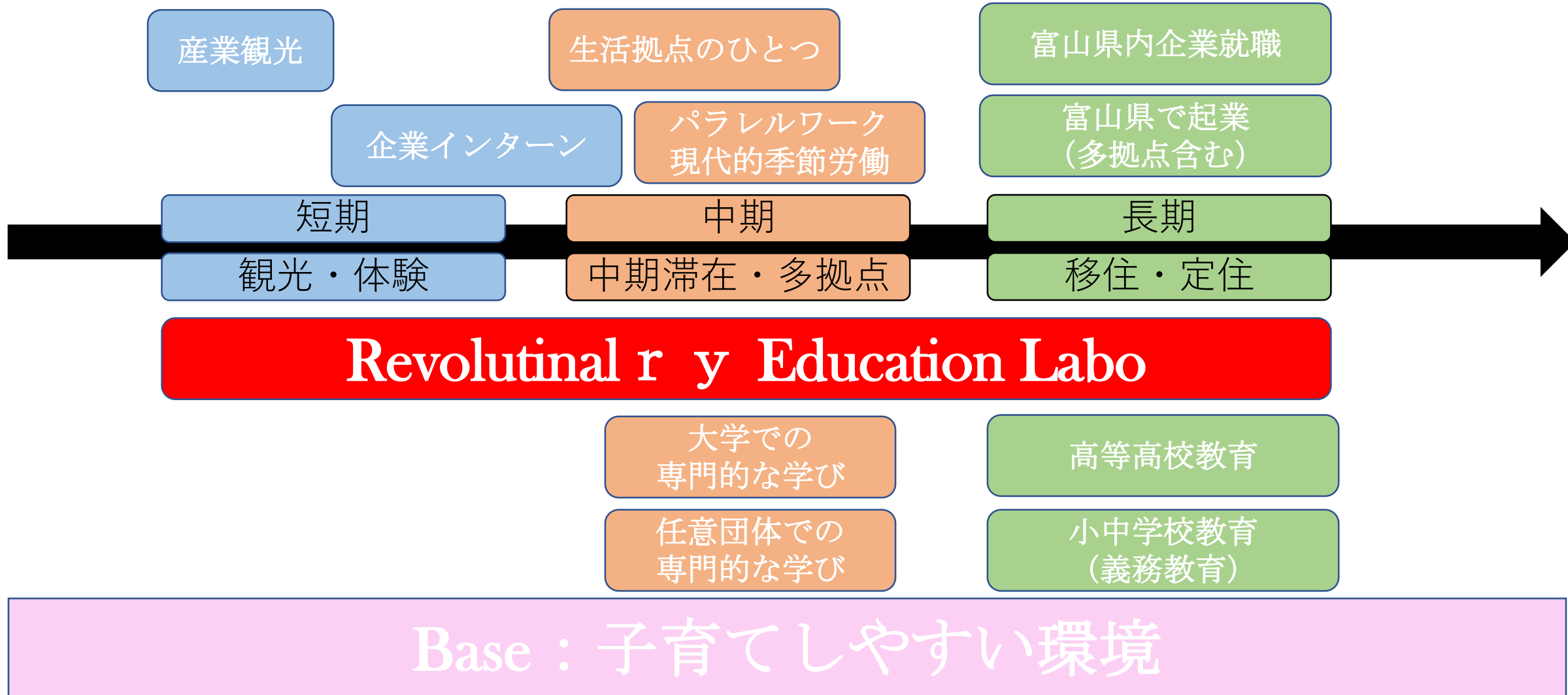
テーマ : 「**学び直し**」 「**おとなの学び**」 「**ひとづくり**」

ターゲット : 「**25歳～34歳**」
(第2新卒世代&第一子子育て世代)

特色 : ツーリズム・企業インターシップ・義務教育・高等教育・大学教育・ワークショップを有機的に繋ぎ、
富山県全体が学び直しのコンテンツ集積地になる
ような**ファシリテーター**としての役割。



Image



Image

心接人口 (ファン人口) ・関係人口拡大

→多拠点生活拡大

→Uターン・移

住 定住人口拡大

Revolutinal r y Education Labo

大学での
専門的な学び

高等教育

任意団体での
専門的な学び

小中学校教育
(義務教育)

Base : 子育てしやすい環境

TELの活動内容

- ① 既存のLabo（朝日町みらいまちLaboや南砺市ジソウラボ）の発信
- ② 新設Laboの立ち上げコンサルティング
- ③ 各Labo合同の学びコンテンツ企画と運営
- ④ 各Laboの特色ある活動、そのエリアの尖った人やモノやコトを
発信するWebマガジンの制作
- ⑤ 多拠点生活のプロデュース（ブランディング含むクリエイティブ）
- ⑥ 他都道府県市町村のLabo組織との定期的な交流やコンペ企画

TEL活動への行政支援要望

- ① TEL事務局としての人材の出向
- ② TELの活動への助成金
- ③ TELの活動の県外へ国外への行政からの発信

シリコンバレー（カリフォルニア）

バイオバレー（アルザス）

フードバレー（オランダ）

エデュケーションバレー（富
山）

ご清聴ありがとうございました